平成26年第1回臨時会が開催されました。

LRT (次世代型路面電車) 導入計画の賛否に関する住民投票条例の制定を否決

本会議

(意見陳述・

質疑)

臨時 会 の日程と審議 の状況

会期を1月24日から 6日間と決定した。 月 24 29 日

まで

0

面電車) る住民投票条例の制 宇都宮市のLRT て提案理由の説明をした。 上程され、 導入計画 市長が意見書 0 (次世) 院定の議案が賛否に関す を附 1代型路

1 月 27 日 を行う人数等について決定した。 条例制定請求代表者が意見陳述

7名の議員が、 疑を行った。 憲一氏より意見陳述があった。 条例制定請求代表者である上 議案について 質 田

請

求

代

表

者

の

意

見

総務常任委員会

考人として招致し、 疑を行った。 条例制定請求代表者の2名を また、 執行部に 質疑を行っ 対しても質 参

月 28 日

総務常任委員会

委員間で討議を行い、採決した。

敷設する事業を阻止すべ

く結成した団体であるが、

に危険を伴う路面電車を

受けた後、 会での審査結果について報告を 総務常任委員会委員長より委員 より否決された。 户 29 日 採決の結果、 各会派から討論が行 閉 賛成少

票での決着をとの思い 提出でき、市民の住民投

RT事業は単

い3万人以上の署名簿を

11月から署名活動に取

必要数の4倍近

市 長 の 意 見

に受け止めている。 万人あまりの署名があっ たことに対しては、 条例制定請求に係

見据え、国や県、 する将来のまちづくりを ついては、 しかし、 寧に市民への説明など 取り組んできたところ 協議を経て、 有識者や関係機関と 持続的に発展 LRT事業に 段階的に 周辺市

あり、 ながら進めてきたもので 員を住民が直接選挙する についても、議会の承認 長年にわたり議論を重ね 元代表制の下、これま 議会と執行部の間で LRTに係る予算

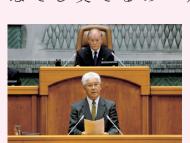
今後とも、

. 地方公

に議論し、 議会と執行部の間で十分 民投票を行うことなく、 を得てきたことから、 とが適切であると考えて 進めていくこ

あらゆる機

共団体の長及び議会の



▲条例制定請求代表者による 意見陳述の様子

乗換えが不便で耐え難い 路の車線減少による交通 強く感じた。 などの声があった。 東西大通りの幹線道 路線バスからの 署名集めで

の立場から、

デメリット

市はLRT導入あり

や矛盾に触れず、

に推進してきた。

私たちは、

駅前大通り

施し、 事案ごとに住民投票を実 なければならないとして 特に重要な事項において 致で可決しており、その に自治基本条例を全会一 市議会では20年12 条で市政にかかる その結果を尊重し 月

> 宮市の交通体系を基本か 是非を確認できるよう住 案である。市民の意志、 ら変えてしまう重要な事 る主要事業ではなく宇都 民投票を活用してほしい。



▲市長による提案理由説明の様子

を提供し、 で取り組む。 がら、LRT導入に全力 進に努めるとともに、 会の意見も十分に聞きな 会を通じて、 市民理解の 市民に情 議 促

審議結果		会派の態度									
賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。	結	自	自民	市	公	統	共	改	環	未	び
各会派の所属議員や議員個人の賛否については、ホームページで公開	果	民	グラ	民連	明		産				しょ
していますのでぜひご覧ください。		党	ブ	合	党	_	党	革	境	来	h
宇都宮市のLRT (次世代型路面電車) 導入計画の賛否に関する 住民投票条例の制定	原案 否決	×	×	0	×	0	0	0	×	0	×

◎会派略称と所属人数

自民党:自由民主党議員会 (11 人)、 自民クラブ:自民クラブ (10 人)、 市民連合:市民連合 (6 人)、 公明党:公明党議員会 (6 人) 統一:統一会派フォーラム・みんな (5 人)、 共産党:日本共産党 (2 人)、 改革:議会改革クラブ (1 人) 環境:環境と健康を守る会 (1 人)、 未来:未来への架け橋 (1 人)、 びじょん:For シングルびじょん (1 人)